

令和2年度事業報告書

1. 令和2年度の事業概要

令和2年度は3か年の中期経営計画のスタートとなる年度であり、創立100周年に向けて掲げた学園長期ビジョン「感応の心を大切に、共に学び、高め合う、理想の学び舎を創造する。」の土台づくりとなる1年でした。また同時に、コロナ禍という今までには経験したことのない、困難な状況のもとでの学校運営を余儀なくされた1年でもありました。

このような環境のもと、学園として「学びの保障」を使命と捉え、ICTの活用等、各部門とも創意工夫を凝らして教育活動に取り組み、社会からも高い評価を頂きました。また募集活動においても、ウイズコロナ時代に対応した新しい活動を展開し、成果を出すことができました。厳しい1年ではありましたが、学園全体で総合力を発揮し、建学の精神に基づく教育研究活動の推進とともに業容拡大を果たすことのできた充実した1年となりました。

以下、部門別に見た令和2年度の事業概要を報告します。

こども教育宝仙大学は、大学としてのMission、Vision、Valueを策定し、Visionとして定めた『実践教育を徹底し、優れた保育者を育てる』『一人ひとりに寄り添い、優れた保育者を育てる』『90年の信頼「保育の宝仙」を受け継ぎ、優れた保育者を育てる』を具体化し推進する、こども教育HOSEN WAYプロジェクトに全教職員が取り組んでいます。令和2年度はこれをもとに以下の様々な活動を行いました。

初めに教学面では『存在感あふれる保育単科大学を作り上げる』をスローガンに掲げ、教育の質向上に取り組みました。

まず新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応と遠隔授業の手法確立・教育力強化です。全教職員参加によるZoom定例会議を行い、4月20日から保育系大学の中でいち早く遠隔授業を立ち上げたのち、学生たちの学修効果を高める遠隔授業法を確立、また教室カメラの設置等遠隔授業実施のための施設整備、Wi-Fiルーター・ピアノキーボード貸出などの学生支援も行いました。6月からは、遠隔と対面を組み合わせたハイブリット型授業を採り入れ、学生アンケートなども行いつつ、更なる学修効果の向上に努めました。

実習に関しても、コロナ禍において、実習園・施設との信頼関係を基礎とし、対象者全員を期間短縮せずに参加させることができました。とりわけ緊急事態宣言下の2月からの実習では、実習生全員にPCR検査を行い、全員が陰性であったことを確認したうえで実習に送り出しました。

上記取り組みにより卒業生の免許・資格取得率は、幼稚園教諭一種免許状91.3%、保育士資格95.0%、免許・資格両方取得者91.3%と、いずれも高取得率に至りました。

また社会貢献・地域連携の推進は、こども教育研究センターが中心となり、地域子育て支援室「ぶちとまと」の開催、中野区委託事業「保護者支援プログラム」運営、中野区保育実務研修への講師派遣、東北再生「私大ネット36」事業運営幹事校活動など、感染症拡大防止の中、可能な限りの活動を行いました。なお、これらの活動内容を取りまとめ「こども教育センター 2020年度活動報告書」を発行しました。

次に学生募集では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した少人数制の来校型オープンキャンパ

スの開催、指定校・宝仙学園高等学校女子部との関係強化、保育留学制度創設などに取り組み、令和3年度入学生は116名となり、2年連続で入学定員を充足しました。

次に就職では、感染症拡大防止による就職活動への影響がある中、卒業者数に占める就職者率は86.3%、希望者就職率は98.6%で、そのうち保育職就職率は98.6%でした。

またコロナ禍における固有の取り組みとして、学生たちへの経済的支援を担う「学生生活支援センター」を新設、大学独自の給付型緊急奨学金の支給をはじめ、国による支援策、同窓会「あかつき会」会員からの寄附金による支援策などを講じました。

令和2年度は、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、同機構が定める「大学評価基準に適合している」と認定されました。「Mission、Vision、Valueの策定とこども教育HOSEN WAYの取組」「きめ細かい実習指導と実習指導室の対応」が優れた点として評価されました。なお、こども教育HOSEN WAYの取り組みは、令和3年度からこども教育HOSEN WAYプロジェクトⅡとして、取組内容の見直しを行いスタートしています。

中学高等学校共学部「理数インター」は、自己ベストの更新をスローガンとした進学校として、9回目の卒業生を送り出しました。大学進学実績は、東大・京大・一橋大等国公立大学37名、早慶上理61名、GMARCHに140名等の合格者を出しました（過年度卒業生を含む）。新入生は、中学校242名、高等学校245名で、各7クラス編成となりました。コロナ禍で、オンライン授業を併用しつつの1年でしたが、教職員・生徒の奮闘を多としたいと思います。

女子部は、2年前から学園の伝統文化である保育文化を担う保育コースに特化した女子校として募集を行っています。今年度からすべての学年が保育コースのみの1クラス編成となりました。ダンス部をはじめとする身体表現に特長を持つコースとして、こども教育宝仙大学との高大接続をより進めたいと考えています。

小学校は、令和2年度はコロナ禍の1年間であったため、あらゆる計画がリアルには実施できない中での学校運営となりました。そんな中でも宝仙小は、「学びを止めない」を合言葉に、4月から双方向のオンライン授業を展開できた数少ない学校となりました。これは、過去3年間を準備期間としたタブレット端末の整備が決定的な要因として考えられます。6月からは、段階的にリアル登校を再開し、ICT器機を活用しながら授業展開を行いました。また、1・2年生にも、一人一台のタブレット端末を所持する環境を整え、全学年でICT器機を活用した学習の領域を広げました。2学期の運動会 文化祭は、「HOUSEN FES」としてオンライン発信することができました。

幼稚園では、「遊びの中の学び」を大切に考え、保育の場では教員が常に意識し、様々な体験・経験を通し、各学年での子どもの育ちを生み出していきました。また進級のたびに一人ひとりの育ちを把握、確認し、子ども一人ひとりの今までの育ちを生かす保育を展開することを大切にしながら、教員間の連携を深めていきました。

また、教育計画を保護者に配布することで、本園の教育の理解を深めることに繋げようと考え、努力しました。

人として「感応の心」を育てることの大切さをもとにし、家庭と子どもの育ちや課題を確認し合い、園生活や家庭生活の仕方、関わり方を工夫する手立てとなりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止措置のための、臨時休園中のYouTube動画配信、オンライン保育など初の試みを行い、園に対しての保護者の信頼獲得に努力しました。また、園再開後の園内環境のコロナ

対策として、玄関・保育室入口等消毒液の設置、園庭遊具の消毒作業、職員室・保育室の亚克力板設置等、早期に環境を整えました。

2. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

創立者の目指した教育は「人を造る」教育です。そして「宗教的信念を根底においた人格教育の達成」を目標に定めました。人智を超える大いなる存在を感得することにより心豊かな人格を育み、生きる意欲を高め、豊かな人生を歩む。創立者が目指した教育は、学園に集うすべての人が、人間の本質を見つめ、そこから人間としての生き方を学ぼうという教育であります。

(2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月	感応幼稚園設置認可
昭和 3年 1月	中野高等女学校設立認可
昭和 10年 3月	仏教保育協会保姆養成所設置認可
昭和 14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和 19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和 21年 11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和 22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和 23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和 23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和 26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和 26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和 27年 11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和 29年 10月	感応幼稚園を宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 29年 10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和 29年 10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和 39年 1月	宝仙学園短期大学生生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成 10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可(学位授与機構認定)
平成 19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成 20年 10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成 21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学
平成 21年 4月	宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止
平成 22年 4月	宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等

(令和2年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科
宝仙学園高等学校	昭和 3年4月	全日制（普通科）
宝仙学園中学校	昭和22年4月	
宝仙学園小学校	昭和28年4月	
宝仙学園幼稚園	昭和 2年4月	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (令和2年5月1日現在)

学 校 名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 R3.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	372	396
宝仙学園高等学校	245	735	703	762
宝仙学園中学校	135	405	630	662
宝仙学園小学校	70	420	453	453
宝仙学園幼稚園	—	315	280	269

(5) 役員の概要 (令和2年5月1日現在)

区 分	定 員 数	現 員 数	常勤・非常勤
理 事	7～10人	9人	常 勤－7人 非常勤－2人
監 事	2人	2人	非常勤－2人

(6) 評議員の概要 (令和元年5月1日現在)

区 分	定 員 数	現 員 数	常勤・非常勤
評議員	19～28人	20人	常 勤－11人 非常勤－ 9人

(7) 教職員の概要 (令和2年5月1日現在)

区 分	大 学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本 部	合 計	
教 員	本務	18	46	37	26	15	0	142
	兼務	20	32	19	1	3	0	75
職 員	本務	16	8	3	2	4	6	39
	兼務	6	3	1	3	1	1	15

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。
会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・令和2年度開催回数6回

<主な議案>

- ・役員、評議員の改選
- ・令和元年度事業報告
- ・令和元年度収支決算
- ・令和2年度補正予算
- ・令和3年度経営計画・収支予算計画

- ・ 学園規則類の制定・改廃
 - ・ 資産の売却
 - ・ 校舎建替え（創立100周年事業）の計画策定
- (2) 評議員会開催の状況・・・令和2年度開催回数6回
- ＜主な議案＞
- ・ 監事、理事の改選
 - ・ 令和元年度事業報告
 - ・ 令和元年度収支決算
 - ・ 令和2年度収支補正予算
 - ・ 令和3年度経営計画・収支予算計画
 - ・ 資産の売却
- (3) 監事業務の状況
- ・ 理事会、評議員会への出席状況（理事会6回、評議員会6回 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため意見書提出出席3回）
 - ・ 監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回、監査方針打合せ会1回）
- (4) 法定監査の状況・・・令和2年度実施回数16回
- ・ 監査法人による会計監査の実施
- (5) 令和2年度の主な教育活動
- ＜大 学＞
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため遠隔授業開始（R2. 4/20）
 - ・ 本学園幼稚園での体験学習（R2. 8/26・27 12/8・15）
 - ・ 体験学習 施設（Zoom形式で実施 R2. 11/26・12/10・17・24）
 - ・ 教育実習（R2. 8/17～11/19）
 - ・ 保育実習Ⅰ（施設）（R2. 7/25～R. 3. 4/12）
 - ・ 課外プログラム2年次生：国内／富山県利賀村（中止）
 - ・ 課外プログラム3・4年次生：国外／オーストラリア（中止）
 - ・ 「令和2年度大学機関別認証評価受審（実地調査 R2. 10/13・14）
 - ・ 「HOSEN こどもフェスティバル 2020」開催（宝仙学園幼稚園との共同企画 R2. 12/7・14・18・19）
 - ・ 保育実習Ⅱ・Ⅲ（保育所・施設）実施（R2. 11/16～R3. 3/13）
 - ・ 第11回図書館講演会開催（R3. 1/6）
 - ・ 東北再生「私大ネット36」南三陸プログラム（オンラインプログラム R2. 1/9）
 - ・ 大学入学共通テスト 東京女子大学と共同実施（R3. 1/16・17）
 - ・ 保育実習Ⅰ（保育所）実施（R3. 2/1～3/30）
 - ・ 卒業研究発表会（Zoom形式で実施 R3. 3. 4）
 - ・ 第9回学位記授与式挙行政（R3. 3/19）
 - ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、卒業生及び教職員のみ出席
 - ・ こども教育研究センター「2020年度 活動報告書」発行（R3. 3月）
 - ・ 「2020年度 FD活動報告書」発行（R3. 3月）

- ・子育て広場「ぷちとまと」開催 (R2. 10月～12月)
- ・中野区委託事業「保護者支援プログラム」開催 (R2. 7・9・2・3月)
- ・「中野区保育実践研修」に講師として本学教員派遣 (R2. 9/24・9/30・11/25・12/2)

< 中学・高等学校 >

(共学部)

- ・4/6 始業式 (オンライン) ～5/6 (オンライン授業講座・オンライン面談)
- ・4/7 入学式 (オンライン録画・4/8配信)
- ・5/11 オンライン授業開始
- ・高校体育祭／東京体育館 (中止)
- ・中1 ラグビー教室／早大上井草グラウンド (中止)
- ・高2 アメリカ研修旅行／スタンフォード大学・ヨセミテ (中止)
- ・高1 関西研修旅行／長谷寺 (中止)
- ・中学体育祭／エスフォルタ八王子アリーナ (中止)
- ・6/22 分散登校開始 (6学年対面授業) ～8/8 1学期終業式
- ・中1 林間学校／水上高原 (中止)
- ・ニュージーランド語学研修 (中止)
- ・マルタ研修 (中止)
- ・セブ島語学研修校内 (中止)
- ・8/20 2学期始業式 (オンライン)
- ・中2 長崎研修旅行 (中止)
- ・宝仙祭 (中・高) (R2. 10/24, 25)
- ・中1 十三詣り (R2. 11. 7)
- ・中1 ネイチャープログラム／日本科学未来館、科学技術館、多摩六都科学館 (R2. 11/12)
- ・中3 アジア研修旅行／シンガポール (中止)
- ・中1 ラグビー観戦／早慶戦 秩父宮ラグビー場／ (中止)
- ・高3 冬期講習 (R2. 12/22～25、R3. 1/4～7)
- ・中学合唱祭／中野ゼロホール (中止)
- ・中学グローバルコース英語プレゼンテーションコンテスト (R3. 1/16)
- ・中2 職場体験 (中止)
- ・中学英語プレゼンテーションコンテスト (R3. 3/10)
- ・高校英語プレゼンテーションコンテスト (R3. 3/13)

(女子部)

- ・4/6 始業式 (オンライン) ～5/6 (オンライン授業講座・オンライン面談)
- ・4/7 入学式 (オンライン録画・4/8配信)
- ・新入生歓迎会 (オンライン歓迎会) (R2. 5/25)
- ・スポーツフェス (R2. 10/10)
- ・高Ⅲ保育コース実習／宝仙学園幼稚園 (R2. 11/18)
- ・高Ⅱ保育コース実習／宝仙学園幼稚園 (中止)
- ・夏期講習 (Ⅰ期) (中止)

- ・高Ⅱ研修旅行（中止）
- ・高Ⅲ保育コース保育実習（中止）
- ・芸術鑑賞会（R3.3/4）
- ・高Ⅰ・Ⅱ保育コース保育実習（中止）
- ・冬期講習（中止）
- ・合唱祭（中止）
- ・新高Ⅰ春の勉強会（中止）

<小学校>

- ・安定した入口と出口の成果を確認
- ・1～4年の英語活動 / 中島教諭 担当
- ・5、6年の英語活動 / 中島教諭と外国人講師マイケル 担当
- ・サッカー、金管バンド、笛クラブなど朝の課外活動は休止
- ・全校でのタブレット端末を活用した授業の実践
- ・学校改革の研修会は、年間講師 WENESS社を招聘し実践
- ・ICT化の環境では、iPad⇒1・2年生がCYOD、3・4年生が一人一台、5・6年生が学校用一人一台
- ・全各教科でタブレット端末を活用した授業を展開
(授業の可能性を広げ、児童がオリジナルな学習・主体的学習者への変貌を遂げつつある)
- ・研究主任の発案による「ごちゃカフェ」の学園全体への発信
- ・広報担当、入学対策担当のホームページ・スクールガイド等を含めた対応力の充実
- ・オンライン公開授業 学校説明会の充実とオンライン参加者の増加に繋がる活動を展開
(プレゼンテーションの工夫なども大きな効果を上げた)
- ・宝仙小の未来設計の柱として「アドミッション・カリキュラム・ディプロマ」の3つのポリシーを考案
- ・学校と保護者の教育懇談の場として「Hosenエデュセッションズ」の活動（休止）
- ・保護者のICTの研修会や体験会を実施し、情報モラルや情報リテラシー（株・教育ネット）について学ぶ場を設定*児童も情報モラルや情報リテラシーについて学ぶ場を設定
- ・中止、変更となった行事
 - 4月 進級遠足
 - 5月 写生会・父母授業参観
 - 6月 校外学習・6年生修学旅行
 - 7月 宿泊行事
 - 9月 運動会（10月のスポーツフェスでオンライン学年配信）
 - 10月 宝仙祭（音楽フェス・図工フェスでオンライン配信）・校外学習
 - 12月 イングリッシュキャンプ
 - 2月 6年生を送る会（オンラインで実施）
 - 3月 卒業研究発表会（保護者にはオンライン配信）・卒業式（短縮版で実施）

<幼稚園>

- ・コロナ禍による保育環境の整備／オンライン保育、分散登園、短縮保育、行事内容縮小
- ・戸外遊びの充実／年齢に応じた戸外あそびの工夫
- ・英語教育／年少・年中・年長ともに原則週1回
- ・本学園小学校との連携教育活動／理科実験教室（コロナ禍のため1回）
- ・本学園大学との連携教育活動／宝仙祭活動（コロナ禍のため1回）
- ・園内研修の充実
 - 「コロナによる新年度開始の遅れによる子どもの育ちについて①」（R2. 7/27）
 - 「品格ある保育者になるために」講師：伊東絹子（R2. 8/31）
 - 「研究保育 虹組（3歳児）」（R2. 11. 11）
 - 「コロナによる新年度開始の遅れによる子どもの育ちについて②」（R2. 12/24）
 - 「コロナによる新年度開始の遅れによる子どもの育ちについて③」及び「1年間のまとめ」（R3. 3/16）
- ・仏教行事／花まつり（中止）、両大師祭・みたままつり（5歳児のみ）、おつとめ（学年別8回）地蔵祭（7回）
- ・避難訓練、防犯訓練の実施（年間4回）、AED講習会開催（R2. 9/28）
- ・公開保育・体験入園・入園説明会／2・3年保育と満3歳関係と実施時期を分け説明会はオンライン、体験入園・公開保育は人数制限ありで実施
- ・進学講演会開催（中止）
- ・母の会主催講演会（中止）
- ・中央線沿線私立幼稚園合同説明会（不参加）
- ・「楽しい子ども会」実施／園児表現活動の保護者参観（R3. 2/15～19）
クラス単位、時間短縮のため内容縮小、人数制限ありで実施

<全学園>

- ・創立者忌日法要（R2. 6/29） 参列者：各部門の役職者（管理職以上）
園児・児童・生徒・学生はオンラインで視聴
- ・「宝仙祭」の開催：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、部門ごとに開催
大学（R2. 12/9～R3. 1/11）「オンライン宝仙祭」ゼミ・マイスターを中心に開催
高等学校、中学校（R2. 10/24～25）「New Step 新たな青春」内部のみにて開催
小学校（R2. 10/12～24）「HOUSEN FES」オンラインで開催
幼稚園（R2. 12/18～19）「こどもの作品展示」作品展示のみにて開催
- ・長谷寺仏教研修：（中止）

（6）令和2年度の主な事業活動

<学園の活動>

- ① 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項
 - ・学校法人宝仙学園寄附行為の一部改正（R2. 6/6施行）
 - ・こども教育宝仙大学納付金の減免に関する規定の制定（R2. 6/9施行）
 - ・こども教育宝仙大学奨学生規程の一部改正（R2. 4/1施行）
 - ・こども教育宝仙大学納付金の減免に関する内規の一部改正（R2. 5/21施行）

- ・宝仙学園高等学校特待生授業料減免に関する規定等の実施要領の一部改正 (R2. 4/1施行)
- ・宝仙学園小学校授業料減免に関する規定の制定 (R2. 6/9施行)
- ・宝仙学園小学校学納金の減免に関する内規の一部改正 (R2. 5/26施行)
- ・こども教育宝仙大学危機管理規程の一部改正 (R2. 4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学テロ発生時における措置に関する内規の一部改正 (R2. 4/1施行)
- ・こども教育宝仙大学危機管理規程に基づく対策本部設置要領の一部改正 (R2. 4/1施行)
- ・宝仙学園理事会会議規則の一部改正 (R2. 6/5施行)
- ・宝仙学園就業規則の一部改正 (R3. 4/1施行)
- ・宝仙学園ICT推進・管理規程の制定 (R2. 10/14施行)
- ・宝仙学園情報セキュリティポリシーの一部改正 (R2. 10/14施行)
- ・宝仙学園個人情報の保護に関する規程の一部改正 (R2. 10/14施行)
- ・宝仙学園育児・介護休業に関する規定の一部改正 (R3. 1/1施行)
- ・宝仙学園ハラスメントの防止に関する指の一部改正 (R3. 1/1施行)
- ・宝仙学園ハラスメントの防止に関する規程の一部改正 (R3. 1/1施行)
- ・こども教育宝仙大学ハラスメントの防止等に関する規程の一部改正 (R3. 1/1施行)
- ・こども教育宝仙大学学生の懲戒に関する規程の制定 (R3. 4/1施行)
- ・宝仙学園教学組織規則の一部改正 (R3. 4/1施行)
- ・宝仙学園給与規定手当支給基準表の一部改正 (R3. 4/1施行)
- ・宝仙学園ICT推進・管理規程の一部改正 (R3. 4/1施行)
- ・宝仙学園高等学校女子部特待生授業料減免に関する内規の廃止 (R2. 5/21廃止)
- ・宝仙学園中学校特待生授業料減免に関する内の廃止 (R2. 5/21廃止)
- ・宝仙学園高等学校共学部特待生授業料減免に関する内規の廃止 (R2. 5/21廃止)
- ・宝仙学園情報システム管理規程の廃止 (R2. 10/14廃止)

② 教育環境整備の推進状況

- ・大 学 1・4号館 (131・401) デジタルビデオ収録装置等 (680万円)
 1～5号館 Wi-Fi環境改修整備 (908万円)
 授業用及び学生貸出用ノートPC整備42台 (453万円)
 図書館及び教職員PC取替更新31台 (488万円)
- ・中 高 校内LAN設備補強 (1,930万円)
 校舎照明器具・誘導灯LED化工事 (1,595万円)
 中庭ブロック塀改修工事 (374万円)
 1号校舎屋上フェンス改修工事 (1,430万円)
 ICT3 教室工事 (1,415万円)
 屋外ディスプレイ内装・機器(プロジェクター) 200万円
- ・小学校 ICT 教育環境整備 1・2年生 CYODスタート 全学年 iPad整備完了
 理科室黒板リフォーム (248万円)
 防犯カメラシステム更新 (200万円)
 給食部食洗器 (299万円)
- ・幼稚園 渡り廊下可動式ひさし (440万円)

庭靴用靴箱 (210万円)

防犯カメラシステム更新 (120万円)

③ 学園運営管理施策の推進状況

- ・令和2年度監事への経営報告会の実施 (年3回)
- ・令和3年度経営計画の部門別検討会の実施 (R03.1/21~1/26)